

今日のトピック インド株式市場は上昇（2020年6月） リスクオン（選好）相場に追随、コロナ感染は拡大中

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	6月19日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.40	▲0.9	▲1.5	▲8.9	▲9.5
ルピー/米ドル (ルピー)	76.19	0.5	0.7	7.2	9.3
金利 (%)					
政策金利	4.00	0.00	▲0.40	▲1.15	▲1.75
10年国債利回り	5.85	0.05	0.08	▲0.90	▲0.99
株価指数 (ポイント)					
SENSEX	34,731	2.8	15.0	▲16.7	▲11.2
NIFTY中型株100	14,565	1.6	16.8	▲13.8	▲15.0

(注) データは2020年6月19日基準。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【インドの株式、通貨】



(注) データは2019年6月19日～2020年6月19日。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント1 6月のSENSEX指数は上昇

- 6月のインド株式市場は、世界各国で新型コロナウイルスの影響で停止した経済活動が再開し、景気回復期待からグローバルに株価が上昇するなか、堅調な展開となりました。代表的な株価指数のSENSEX指数は、インド政府が全国一斉のロックダウン（都市封鎖）を6月1日から解除したことを好感して、月初から連騰し、3日には約3か月ぶりに34,000ポイント台を付けました。その後、米国株式市場が調整したことなどから、下押し場面がありましたが、再び切り返し、19日には戻り高値を更新しています。インドの新規感染者拡大が続くなかでも投資家心理が好転し、リスクオン（選好）相場が継続しています。

ポイント2 外国人投資家は買い越しが続く

- 世界的な投資家のリスク選好姿勢の強まりを背景に、インド株式市場にも海外からの資金が流入しています。3月から4月にかけて新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、海外投資家の大幅な売り越しが続きましたが、5月以降は買い戻しが入りました。5月1日から6月18日までの海外投資家の累計買い越し額は、42億米ドル（約4,500億円）を超える規模となっています。

今後の展開 新型コロナの影響が残り不安定な動き

- インド株式市場は、世界的なリスクオン（選好）相場に追随し、経済活動再開への期待感から他市場に出遅れた分を取り戻す動きとなっています。ただし、新型コロナの感染拡大が依然として収まらないなか、企業業績の下方修正が顕著になるなど、景気の不透明感が強い状況にあるため不安定な相場展開が見込まれます。株式市場の安定性が戻るには新型コロナの感染が落ち着く必要があると見られます。

ここも
チェック! 2020年6月 4日 アジア・マーケット・マンスリー（2020年6月）
2020年5月22日 インド株式市場は軟調（2020年5月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。